



モッテコイ 誼訪小魂！

～ 本物の【あかぎの心】を發揮しよう ～

長崎市立誼訪小学校 校長 山崎 直人

こんな夏休みに！

第1学期が終わります。コロナ禍3年目に突入し、感染予防対策を講じつつも、「学びを止めない」というスタンスで取り組んできました。ここ数日の感染拡大は心配ですが、子供たちにとって、それぞれの学年で迎える今年の夏は「今年」しかありません。しっかりと楽しんでもらいたいです。

終業式では次のような話をしました。

明日から待ちに待った夏休みです。いろんな楽しいことが待っていることでしょう。そんなうれしい夏休みを前に、「こんな夏休みにしてほしい」という話を2つします。

1つ目は「命を大切にできる夏」にしてほしいというお話です。命は大事、ということは誰もが知っています。自分の命は自分で守る、ということもよく耳にしましょう。

命を大切にするために気を付けて欲しいことの第一は、やはり新型コロナウイルスへの感染予防です。この1週間で全国的に感染が広がってきたことは皆さんも知っていますね。基本的な感染予防対策をしっかりとして身を守りましょう。

また熱中症も危険です。マスクをするとき、マスクを取るときを考えてください。水分補給も小まめにしましょう。

夏は海やプールや川で遊ぶことも楽しいですね。けれど油断せず、水の事故には十分気を付けましょう。また、大雨や台風等の自然災害も起こるかもしれません。交通事故や不審者などの心配もあります。

こんな風に考えるといろんな危険がありますが、けれど、大丈夫です。皆さんは自分の身を守る正しい方法をちゃんと知っているはずだからです。危険を感じたらその場から離れること、逃げること、誰かに助けを求めること等、これまで身に付けてきた命を守る行動を、自分の頭で考えて実行しましょう。

「命を大切にできる夏」。誰一人欠けることなく、8月9日の登校日に会いましょう。

2つ目は「挑戦の夏」にしてほしいというお話です。

夏休みは、学校を離れて家庭や地域で過ごす期間です。学校では時間割があり、みんなと同じ学習をします。けれど、夏休みには時間割はありません。自分の過ごし方は、自分で創るのです。習い事などがある人もいますが、それも自分で選んで自分で決めたことのはずです。

そこで、日頃できないことに「挑戦」する夏にしてほしいと思います。

学習に関わることでももちろんいいです。研究をしたり何かを作ったりという挑戦もあります。どこかへ行く、何かやったことないことをやるという体験型の挑戦もあります。何に挑戦するかは一人一人違うでしょう。違っていていいのです。違うからこそ面白いのです。

そして、夏休みが終わったら、こんなことをしたよ、こんなものができたよと教えてほしいと思います。自分で創る自分だけの夏休み。挑戦の夏を創ってください。

お世話になりました

1学期をもって誼訪小学校を離れられる職員を紹介합니다。

【講師：池原一隆先生】

長田先生の病休代替として1か月間、お世話になりました。理科専科を受け持っていただきました。

【ALT：モーガン先生】

本校には3年間お世話になりました。子供たちは英語の授業、モーガン先生が大好きでした。

【給食調理員の4人の方々】

2学期から給食室が民間委託になるため、山下眞喜子さん、濱田千恵子さん、崎村真由美さん、川上晴香さんが離れます。安心・安全でおいしい給食を毎日作っていただきました。

誼訪小の子供たちのために誠心誠意力を尽くされました。本当にありがとうございました！